

思考回路のまとめ

与沢翼 2017年最新版

第5話 短期投資導入編

第4話の要約①

- 1、長期株式投資を成功させるためには、対象企業の未来のある時点における株価を、ファンダメンタルズ及び事業分析及びその成長戦略から、合理的に算出する必要がある。
- 2、未来の想定株価と現在株価とを比較して割安であると感じられるのであれば、投資を実行することとなる。
- 3、投資実行後は、短期的な相場の値動きを一切無視して時間の経過を待つのが仕事となる。
- 4、株価はやがて算出した未来株価に達するものであるが、この時、想定していたよりも早くその株価に到達することも往々にしてあるし、逆に、想定以上に時間がかかることもある。そこで、算定株価への到達時期とその株価の実現可能性を、ご紹介した方法以外での株価算定法を合わせて多角的に、かつ、事業分析及び成長戦略診断という特殊な方法をもって判断する必要があり、GWBSにてその方法をお伝えする。

第4話の要約②

5、また、銘柄によっては、倒産、破産、失速という事態を伴うため、どのような銘柄に投じてはならないのかという足切りの条件をマスターしておくことも必要である。

6、さらに、将来株価が高くなるであろうと算定されても、なるべく現在株価においても、その現在価値と比較し相対的に安い時期に当該株式を取得することが好ましい(取得単価が結果全体のパフォーマンスを左右するため)。

7、そのためには、財務諸表の分析手法を体得し、将来株価を算出できるだけでなく、現在の価値とも比較して、なるべく有利な時に、取得する必要がある。

これらを総称すると、投じてはならない銘柄の足切り技術、対象銘柄の多角的な株価算定技術、そして、現在価値と現在株価との間の乖離を把握する技術を養い、あとは、投資して、時の経過を待てば良いということになる。その時、企業に根幹を揺るがす変化(良い意味でも、悪い意味でも)があった場合は、買い増しや売却を決断することもある。

短期投資の実践に入る前に

お伝えしておかなければならないことがある。

それは、人生で結果を出したい時は、まず思考回路をパーフェクトな状態に固定することである。

というのは、従前から私は確信していることがある。

それは、成功する人は、既に頭の中で成功しており、成功は全て脳内で作られている、ということだ。

行動しないと成功しないと思われる方は正しい。もちろんその通りだが、実際は、完全な思考回路を得ていれば、自ずと脳が行動命令を正しく伝えるため、行動することは無意識でできるはず。だから、成功はそもそも思考時点で決まっていると思う。成功者の脳を開けてみて自分と比較できないから、その差を知る機会はない。

このことの意味がなかなか理解されないと、空回りという結果になりやすい。そこで、短期投資の実践に入る前に、成功のための思考回路について述べる。

成功は、行動の前段階で決まっている

- 1、まず何よりも大切なことは、絞ること、集中すること(広げた時点で全体が破滅する)
- 2、可能な限り時間を作り出すこと
- 3、雑念を払うこと(主に他人への干渉や嫉妬、関心、怒りを捨て、自分のことだけに集中する)
- 4、孤独感を感じた時に力を与えてくれるものを側においておくこと
- 5、やみくもに突っ込む前に、これをするとどうなるかというシュミレーションを3回行うこと
- 6、自分を元気にさせてくれる計画を作ること
- 7、その計画に達するまでは遊びを断つこと(成功の代償はきちんと差し出すこと)
- 8、これまでそれを長く続けていてもたいした結果になっていない全てのことを辞めること
- 9、動き出す前に、知恵を得ること
- 10、動き出したら、自分の頭で悩み、改善に全力をかけること(進化しないなら全ては無に帰する)
- 11、失敗する度に成功に近づくのだということを心の底から腑に落とし、勇気を持つこと

短期投資で最初に覚えるべきこと

どちらに行くかは誰にもわからないことをまず最初に認めること

値動きの型には種類があるので、まずは、その型を全て覚えること

潜在損失額と潜在利益額を計算し、期待値が1以上であるときにエントリーすること

有利な位置で入ればロスカットが少なく、利益が多い。

有利な位置以外で入らないことを徹底すること。

あとはこれを繰り返し、利益を積み増していくこと。

なお、Oライン、トレイリング、イフダン、OCOは、完璧に使いこなすこと。